

ブラチスラバ 世界絵本原画展

絵本でひらくアジアの扉——日本と韓国のいま

主催 千葉市美術館、朝日新聞社
後援 駐日スロバキア共和国大使館、絵本学会
協力 スロバキア国際児童芸術館(BIBIANA)、
一般社団法人日本国際児童図書評議会(JIBBY)、
韓国国際児童図書評議会(KIBBY)



©しおたまこ

28th Biennial of
Illustrations
Bratislava
in Japan

絵本で
ひらく
アジアの扉

日本と

韓国

の

いま

2022
11. 12^{12.} 25^日

開館時間＝

10:00～18:00

(金・土曜日は20:00まで)

* 入場受付は閉館の30分前まで

休館日＝12月5日(月)

休室日＝11月21日(月)

観覧料＝一般 1,000円(800円)

／大学生 700円(560円)

／小・中学生、

高校生無料

* 障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。*()内は前売り、市内にお住まいの65歳以上の方の料金。* 前売り券は、ミュージアムショップまたはローソンチケット(ロード:32248)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて11月11日まで販売(11月12日以降は当日券販売)。* ナイトミュージアム割引として、金・土曜日の18:00以降は観覧料半額。* 本展チケットで「新収蔵作品展」、常設展「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます。

上から: しおたまこ(たまごのはなし)(部分2020年(BIB2021金牌))
/ イミュンエ(明日は晴れるでしょう)(部分2017年(BIB2021金のりんご賞)) / いずれも作家蔵

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

©Lee Myung Ae

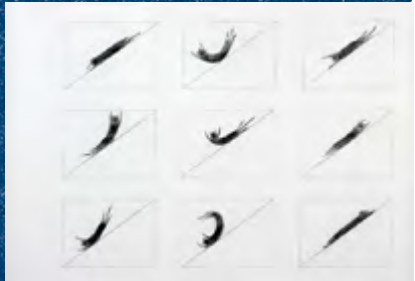


同時開催

「新収蔵作品展」

——現代美術の作品を中心に——

新収蔵作品展では近年に収集した作品を紹介しています。本展では収集方針である「千葉市を中心とした房総ゆかりの作家・作品」と「1945年以降の現代美術」から、2021年に市内で開催された「CHIBA FOTO」(主催:千葉の葉の芸術祭実行委員会)、国内外を巡回した「ウィンター・ガーデン:日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」(主催:国際交流基金)の出品作をはじめとする現代美術のコレクションをご覧ください。



8 ©Tam Ochiai / Courtesy of Tomio Koyama Gallery

休館日=12月5日(月) / 休室日=11月21日(月)
*「ブラチスラバ世界絵本原画展」をご観覧の方は無料
*「新収蔵作品展」のみをご観覧の場合=一般500(400)円、大学生400(320)円

5階常設展示室 「千葉市美術館 コレクション選」

休室日=第1月曜日
*「ブラチスラバ世界絵本原画展」をご観覧の方は無料

4階子どもアトリエ 「つくりかけラボ09 大小島真木 コレスポンダンス /Correspondances」

会期=10月13日(木)~12月25日(日)
休室日=第1月曜日 / 観覧無料

次回展予告

「没後200年 亜欧堂田善 江戸の洋風画家・創造の軌跡」 2023年1月13日(金)~2月26日(日)

「つくりかけラボ10 原倫太郎+原游 RE 幼年期ディスカバリー」 2023年1月14日(土)~4月2日(日)

1 館野鴻(がらあむし)2019年/2 うえだまこと(黒うさぎ)2020年/4 ハンピョンホ(母の島)2019-2020年/5 「バカンス・プロジェクト vol.4」刊行物/6 しおたにまみこ(たまごのはなし)2020年/7 本城直幸(small planet 2020 マリンスタジアム)2021年 千葉市美術館蔵/8 落合多武(drawing for cat slide)2007年 国際交流基金蔵/1~6は作家蔵



6 ©しおたにまみこ

2022
11. 12. 25 (土) → (日)

1 ©館野鴻



絵本で
ひらく
アジアの
扉



2 ©Makoto Ueda

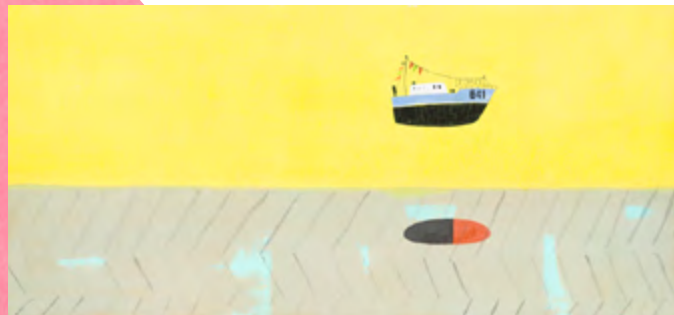
ブラチスラバ 世界絵本原画展

絵本でひらくアジアの扉——日本と韓国のいま

日本と韓国のいま

28th Biennial of Illustrations Bratislava in Japan

3 ©Oh Sena



4 ©Han Byung-ho, Borim Press



5

交通案内

JR千葉駅東口より
・徒歩約15分
・バスのりば7番より大学病院行または南矢行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分
・千葉都市モノレール県庁前方面行「葦川公園駅」下車徒歩約5分
京成千葉駅東口より
・徒歩約10分
東京方面から車では
・京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

*地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
*シェアサイクルスポットがあります。

*館内に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。
*体調のすぐれない方はご来館をご遠慮ください。
*咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。
*内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

関連イベント

事前申込制のイベントについては、必ず美術館ウェブサイトにて詳細及び参加方法をご確認の上、お申し込みください。



出品作家によるトークイベント

11月12日(土)14:00~(13:30開場予定)
出演=イミョンエ(絵本作家)、聞き手=申明浩(武蔵野美術大学講師)
11階講堂にて/先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料(要企画展チケット)

出品作家によるライブペインティング

11月20日(日)11:00~16:00(予定/途中休憩あり)
出演=植田真(画家)
1階多目的室にて/入退場自由/観覧無料
*混雑時は入場を制限する場合があります。

千葉交響楽団メンバーによるコンサート

12月10日(土)14:00~(13:30開場予定)
1階さや堂ホールにて/先着100名(当日12:00より1階にて入場券販売)/入場料=1,000円(高校生以下500円)
*当日は「託児サービス」(事前予約制)があります。

びじゅつライブラリーワークショップ

「手製本でひらく、季節のとびら」

(事前申込制)
12月11日(日)13:30~
講師=空想製本屋・本間あずさ(製本家)
5階ワークショップルームにて/定員=10名/対象=小学4年生~高校生/参加費=600円/11月30日(水)申込締切

会期中、4階びじゅつライブラリーでは、出品作家による選書企画を開催! BIBにまつわる本も特集します。

出品作家によるワークショップ

「よく見て描いて ナンデモ標本をつくろう」(事前申込制)

12月18日(日)13:30~
講師=館野鴻(画家、絵本作家)
5階ワークショップルームにて/定員=15名/対象=小学1年生~高校生(小学3年生以下は保護者同伴)/参加費=500円/12月7日(水)申込締切

「決定! ちば子ども審査員賞」

BIBの「子ども審査員賞」にちなみ、展示作品のなかから投票でみんなのお気に入りを選びます。中学生以下の方に、会場受付で投票シールを配布します。
*投票期間=12月11日(日)まで

市民美術講座

「絵本をとりまく韓国のいま ——現地調査で見えたもの」

講師=庄子真汀(当館学芸員)
11月26日(土)14:00~(13:30開場予定)
11階講堂にて/先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料

担当学芸員によるギャラリートーク

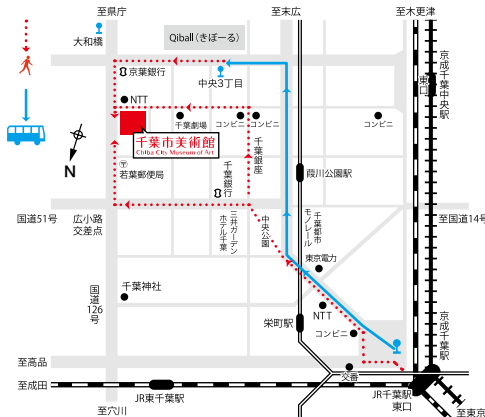
11月16日(水)14:00~
8階展示室にて/先着15名(当日12:00より8階受付にて整理券配布)/参加無料(要企画展チケット)

美術館ボランティアスタッフによる ギャラリートーク

会期中の毎週水曜日(11月16日を除く)14:00~
8階展示室にて/先着5名(当日13:30より8階受付にて整理券配布)/参加無料(要企画展チケット)
*水曜日以外の14:00にも開催する場合があります。
*混雑時には中止する場合があります。

託児サービスデー(事前申込制)

12月10日(土)13:00~16:00
*詳細、申込方法は美術館ホームページをご確認ください。



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-0013
千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311 (代)
https://www.ccma-net.jp